

# 盛岡市動物公園研修 (5月30日実施) の報告

生産技術科3年 菊池菜月・菊池巧明

## 菊池菜月

待ちに待った飼育体験、最初は餌やりと外に出すことをやった。

カワウソが餌を食べるときの様子を見て、普段の可愛らしい姿から打って変わって肉食獣の表情になったところがちょっと恐かった。

次にオオツノヒツジのところへ行くとオオツノとだけあって、とても角が大きく、その御自慢の角で何度も檻に角アタック(?)をしていのを見てみると、大丈夫だよなあ...檻壊れないよなあ。という心配をしながらひたすら掃除をした。ビクビクしながらオオツノヒツジ

の世話を一旦終わらせると次に子供の広場という所へ行つてヤギ、ヒツジ、ミニブタ、アヒル、ガチョウの世話をした。アヒルとガチョウを真ん中にある池に追いつめる(?)という作業がなかなか難しく、あちこちに動き回るので、何とか池にやるとみんな仲良く水浴びをしているのを見たらホッとした。

普段の授業とは違う貴重な経験を、これからの将来にも役立てていきたいと思った。

大きくて可愛い動物、崇高な雰囲気をもつ動物、のほほんとした動物、小さくてふわふわした動物など様々な動物と出会う、心身ともに癒された。

心が疲れたときはもう一度彼らに会いに行きたいと思った。

## 菊池巧明

動物公園での体験は1年生のときから楽しみにしていました。期待したとおり充実した実習ができました。私たちの班は象やキリン

など、アフリカに棲む動物の飼育を担当しました。アフリカの動物はテレビで見ると近くで見るとはうが大きく、実際に見るとイメージと違うところがあり驚きました。たとえば、シロサイはおとなしそうなイメージをもっていますが、飼育員の方の話聞き観察

しているとイメージよりもずっとおとなしく、足を地面に擦りながらゆっくりと歩く姿が印象的でした。象は飼育員の命令を聞く賢い動物でした。しかし、たまに命令を聞かなくなり、象が部屋の大きなドアを前足でたたくと大砲を撃つような轟音が部屋全体に響き渡り、怖い動物にも感じました。

この体験を通して話を聞くことができ、触らせてもらったことで新しく発見することが多く、動物の事を学びながら体験できたので楽しかったです。また、飼育のときに細かいところまで気を使いながらの作業でした。飼育員の方を見ると、やはり動物が好きではないとできない仕事だと思いました。

ツキノワグマについての保全の話も聞き、場所によってツキノワグマの特徴が違うということなどわかりました。

動物公園に一日いてみて、新鮮な体験ができたようです。今後の目標は自分のやりたいことを明確にしてそれに向かうことです。その進路先でも今日学んだ事が少しでも生かせるようになればいいと思います。

研修の様子

